

第 33 回 (2023.09.10) 向け (理論添削問題)

提出期限 : 8 月 28 日
返却(メール) : 9 月 3 日

※提出期限を過ぎても、できる限り添削いたします。

各 250 字以内で答えなさい

3 科目すべてを記載していますが、添削は受講中の科目だけを対象にさせていただきます

前回出題の論点ははずしていますが、それ以外は前回以前の予想と同じ論点のものもあります

<採点の考え方>

加点要因→キーワード (文脈の中で正しさに欠ける場合は減点)

キーワードが合ってなくても同様の意味を示せば問題なし。

減点要因→主語と述語の非対応、論理構成の誤り (原因と結果の不整合等)

後日模範解答を添削結果とともにお送りします。模範解答は建設業会計概説に従い、添削者 (弥生カレッジの横山隆志) の表現に変更する予定です。建設業経理士試験では、キーワードや法令用語であっても正式な用語を強く求められるわけではないことを意識してください。極端に言うと、間違っていなければ主語と述語だけでも 2~3 点程度はもらえるということです。(例: 減価償却の本質→減価償却とは取得原価を配分する手続きである)。試験では絶対にあきらめないでください。

過去の添削を行った感想⇒主語述語の対応関係が明確でない解答が数件ありました。記入した後に必ず対応関係を確認してください。また解答を列挙する場合は、できれば①②③などで箇条書きにした方が見やすくなるので試してみてください。

またテキストの内容をそのまま記入されている方も数人おられましたが、できるだけ自分で考えて自分の言葉で書く練習をしてください

あと、しっかりした回答にするためには、記述内容を「なぜ」「なぜ」「なぜ」の観点から理由を記述すると良いと思います。

<例>

減価償却をする→(なぜ) 適正な期間損益計算をする→(なぜ) 投資家の意思決定に資するため

<財務諸表>

- (1) ファイナンス・リース取引において、売買に準ずる処理が必要な理由について述べなさい。
- (2) リース資産減価償却の方法について述べよ

- ① 固定資産の減損処理の目的を述べなさい。
- ② 減損処理での回収可能価額について説明しなさい。

<原価計算>

<原価計算>

(1) 予定配賦率計算の分母・分子の内容について述べなさい。

(2)

①国土交通省告示での外注費の定義についてのべるとともに、建設業の特質との関連についても述べなさい。

②外注費について労務費との対比に触れながら、その特徴を述べなさい。

<財務分析>

(1) 収益性分析と損益計算書分析の関係について述べよ

(2) 完成工事高増減率と経常利益増減率の関連について触れながら、両者の役割の相違について述べなさい。